

アフリカにおける 医薬品流通ネットワーク の安全確保

CFAOとOPALS財団は、白書「アフリカにおける医薬品流通ネットワークの確保」を発表し、アフリカにおける医薬品流通ネットワークの強化を目的に活動しています。同書は4章で構成されており、アフリカにおける公式な医薬品流通ネットワークの重要性について、広く認識を高めることを目指しています。公式な医薬品供給の信頼性と安全性が重要であることを訴えることで、医薬品の品質や患者の健康を確保します。また、アフリカにおける偽造医薬品の存在とその影響についても概観しています。

第1章

アフリカの医薬品流通ネットワーク

アフリカにおける2つの主要な医薬品流通モデルについて説明しています。

フランス語圏のアフリカでは、厳格な法律が医薬品流通チェーンの安全性を促進しています。製造業者は、認可された卸売業者に製品を販売し、適切な保存・トレーサビリティを確保して輸送・供給しています。価格規制もあり、国内の全ての薬局において、同一価格での購入が保証されています。(国によって価格は異なる場合があります)

英語圏のアフリカでは、医薬品流通に関する法律の制約がフランス語圏のアフリカに比べ、緩やかです。業者や仲介者など関係者が多く、トレーサビリティの確保や品質保持に影響を与えている見解もあります。一方で、市場監視は非常に厳格です。また、通貨の変動や自由価格設定により、同じ医薬品の価格にばらつきが生じます。

第2章

アフリカにおける偽造医薬品の現状

違法な医薬品流通が健康、経済、社会に影響を及ぼすことについて、研究データ、医療専門家の証言に基づき、強調しています。偽造医薬品の取引は、麻薬取引の20倍から45倍の利益を上げ、毎年世界で70万人が命を落としています。世界全体では偽造医薬品の流通割合は約10%と推定されていますが、アフリカでは更に深刻で医薬品流通の最大30%を占め、一部の紛争地域では60%から80%に達することもあります。

アフリカでは、いくつかの要因が違法な流通経路の拡大を助長しており、これが公衆衛生に大きな脅威をもたらし、医療システムを弱体化させています。特に、並行流通ネットワークの拡大により、出所や成分が不明な製品が特に人通りの多い路上市場に出回っているのが現状です。

偽造医薬品の影響 に関する数値

100,000

annual deaths in Africa



アフリカでは、偽造抗マラリア薬の使用により、毎年10万人の命が奪われています

8%

of Africa's
GDP



アフリカでの偽造医薬品に関連する未収税収は、アフリカのGDPの8%に相当すると言われています

200

billion
dollars

世界の偽造医薬品市場は、
年間収益2000億ドルと
推定されています



第3章

サプライチェーンの安全確保に向けた 解決策

毎年、官民ならびに国内外の団体や機関が、アフリカにおける医薬品流通経路の安全確保に向けて取り組んでいます。主な内容としては、流通ネットワークの強化、適切な規制枠組みの整備、高度な監視・検出システムの開発等が挙げられます。本章では、さまざまな関係者が、より安全な医薬品流通に対する取り組みについて共有しています。彼らは、違法な流通ネットワークと闘い、質の高い医薬品へのアクセスを確保するために実施している具体的な事例や取り組みを紹介しています。

第4章

教訓と結論

CFAOとOPALS財団は、以下の5つの事項を提言しています。

- 特に若者を中心に、一般市民への啓発活動の強化
- 薬剤師および将来の薬剤師の教育強化
- 法的枠組みと法執行体制の強化
- より良い医療保障制度と医薬品に対する経済的支援の導入
- 質の高い医薬品への公正かつ手頃な価格でのアクセスを確保すること

この白書を通じて、CFAOとOPALS財団は人々の意識啓発と政府、医療従事者、民間、社会団体など全ての関係者に対し、医薬品サプライチェーンの安全確保と違法ネットワーク撲滅に向けた協力強化を呼びかけています。

